

◆保険料控除申告書の記入例

◆生命保険料控除申告書

◆ 給与所得者の保険料控除申告書 ◆

1	保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間又は年金支払期	保険等の契約者の氏名	保険金等の受取人氏名	新・旧区分	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(分配を受けた保険料等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印	
		チューリッヒ生命	定期保険	終身	チューリッヒ 太郎	チューリッヒ 花子 妻	新・旧	36,000 円	
3	(a)のうち新保険料等の金額の合計額		A	36,000 円	Aの金額を下の計算式I(新保険料等)に当てはめて計算した金額		① (最高40,000円)	28,000 円	
	(a)のうち旧保険料等の金額の合計額		B	0 円	Bの金額を下の計算式II(旧保険料等)に当てはめて計算した金額		② (最高50,000円)	0 円	
5	①と②のいずれか大きい金額		④	28,000 円	計(①+②)		③ (最高40,000円)	28,000 円	
	(a)の金額の合計額		C	48,000 円	Cの金額を下の計算式I(新保険料等)に当てはめて計算した金額		⑤ (最高40,000円)	32,000 円	
チューリッヒ生命の保険商品で、個人年金保険の保険料控除が申告可能な保険商品は現在取扱っておりません。							6	生命保険料控除額計(③+⑤+⑥)	60,000 円

2017年 生命保険料控除証明書 (一般・介護医療用)

契約者 チューリッヒ 太郎 様 適用制度: 新制度

証券番号 12345678	保険種類 終身ガン治療保険	保険期間 終身	払込方法 月払
契約日 2016年03月01日	被保険者 チューリッヒ 太郎 様		

2017年08月までのお払込額を下記のとおり証明いたします。

新制度 一般	一般生命保険料(A)	配当金(B)	一般証明額(A)-(B)
	*円	*円	*24,000円
新制度 介護医療	介護医療保険料(C)	配当金(D)	介護医療証明額(C)-(D)
	*32,000円	*円	*32,000円

《ご参考》2017年12月までお払込みの場合は以下金額をご申告ください。

新制度 一般	年間一般生命保険料(a)	配当金(b)	一般申告額(a)-(b)
	*円	*円	*36,000円
新制度 介護医療	年間介護医療保険料(c)	配当金(d)	介護医療申告額(c)-(d)
	*48,000円	*円	*48,000円

発行番号: 00146311
証明日: 2017年09月1日

チューリッヒ生命 株式会社

1 ~ 5 は 一般の生命保険料 欄の番号を例として記載しています。

- 1 以下のご契約内容を記入する。**

「保険会社名」「保険種類」「保険期間」「契約者名」「受取人名(*1)」「続柄」
*1: 受取人名は保険証券をご確認ください。
- 2 本年中に支払った保険料を記入する。**

「新旧区分」「申告額」を転記する。
※「介護医療保険料」は「新制度」のみのため、「新旧区分」はありません。

一般申告額 は 一般の生命保険料 欄へ
介護医療申告額 は 介護医療保険料 欄へ
- 3 本年中に支払った保険料を「新・旧区分」ごとに合計する。**

・「新」に○をした金額の合計を、A欄に記入する。
・「旧」に○をした金額の合計を、B欄に記入する。

- 4 保険料控除額を計算する。**

・Aの金額を【計算式I(新保険料等)】にあてはめて計算し、①に記入する。
・Bの金額を【計算式II(旧保険料等)】にあてはめて計算し、②に記入する。
- 5 保険料控除額を記入する。**

・①と②の合計を③に記入する。
・②と③の大きい方の金額を④に記入する。

一般の生命保険料 介護医療保険料

の各区分ごとに 1 ~ 5 の手順を繰り返してください。
- 6 各区分ごとの合計額(③+⑤+⑥)を記入する。**